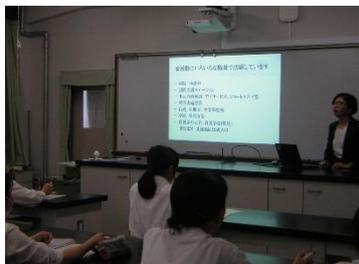


「本物と語ろう 看護師編」開催



令和元年9月11日放課後、生物講義室にて岐阜県看護協会より山中多美子氏、岐阜赤十字病院より現役看護師の清水麻衣氏をお招きし、リサーチゼミ「本物と語ろう 看護師編」が開催されました。1年生から3年生まで23名の生徒と教職員が参加し、看護師という仕事について理解を深めました。



山中氏からは看護師になる進路や多岐にわたる看護職の職場についてお話しをいただきました。

現役看護師の清水氏からは看護師の一日と看護師のやりがい、震災等の災害救護活動についてお話をいただきました。

お話の後の、生徒の多くの質問にも一つずつ丁寧に答えてくださり、特に命を預かる医療の仕事現場で生と死に立ち向かう看護職のやりがいと重責、緊張感と楽しみを織り交ぜて語ってくださいました。



生徒の感想より

- ・看護の仕事は病気の告知をうけたり、余命宣告をされたりするなど精神の安定しない状態の患者さんにどう向き合うかが大切だと感じた。看護師はむずかしいがやりがいと目標が持てる良い仕事だと思った。
- ・病院の仕事は死に立ち向かうこともたくさんある。患者さんとのコミュニケーションや自分の気持ちをコントロールできる看護師になりたいと思った。
- ・看護職はやりがいと目標を持つことができ、自分を育てることができる職業である。看護師だから学べることがある。看護大学へ行けるよう、勉強を頑張りたい。